

令和5(2023)年度

一橋大学外国学校出身者選抜募集要項

1 一橋大学研究教育憲章・各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
2 募集学部及び募集人員等	7
3 出願資格	7
4 出願手続	9
(1) 出願期間	9
(2) 出願方法	9
(3) 出願書類等	10
(4) 注意事項	13
(5) 受験票等について	13
(6) 個人情報の取扱い	13
5 障害等のある入学志願者の事前相談	13
6 選抜方法等	14
7 第1次選抜（学力試験）・第1次選抜合格者発表・第2次選抜（面接）	14
(1) 第1次選抜（学力試験）	14
(2) 第1次選抜合格者発表日時	14
(3) 第2次選抜（面接）	14
(4) 第1次・第2次選抜受験に当たっての注意	14
(5) 配点について	15
(6) 試験場（学力試験・面接）	15
8 最終合格者発表	15
9 入学料の納入	15
10 入学手続	16
11 入学料及び授業料の免除・徴収猶予について	17
12 その他	17
13 参考〔外国学校出身者選抜合格状況〕	18
○ 経済的困窮者及び災害被災者に対する検定料免除制度について	19
○ 国際学生宿舎について	20
○ 入学者選抜成績の情報提供について	21
○ 一橋大学入学者選抜関連ウェブサイト・問合せ先	22



一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

【重要】

新型コロナウイルス感染症の影響も含め、不測の事態が発生した場合、本要項に記載されている各選抜の試験期日や選抜方法等を変更することがあります。その場合の情報提供は本学ウェブサイト（一橋大学トップページ > 一橋大学で学びたい方へ <<https://juken.hit-u.ac.jp/>>）への掲示により行いますので、特に出願及び受験の直前は必ず確認してください。

また、本学追試験に関する情報も本学ウェブサイトに掲載します。

1 一橋大学研究教育憲章・各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

一橋大学研究教育憲章

一橋大学は、市民社会の学である社会科学の総合大学として、リベラルな学風のもとに日本における政治経済社会の発展とその創造的推進者の育成に貢献してきた。人文科学を含む研究教育の水準はきわめて高く、創立以来、国内のみならず国際的に活躍する、多くの有為な人材を輩出している。

この歴史と実績を踏まえ、一橋大学は、日本及び世界の自由で平和な政治経済社会の構築に資する知的、文化的資産を創造し、その指導的担い手を育成することを使命とする。一橋大学は、この使命を達成するため、先端的、学際的な社会科学の研究教育を積極的に推進し、日本及び世界における拠点として、人間社会に共通する重要課題を解決することを目指し、研究教育の理念と基本方針とを次のように定める。

1 一橋大学の研究教育の理念

- (1) 充実した研究基盤を確立し、新しい社会科学の探究と創造の精神のもとに、独創性に富む知的、文化的資産を開発、蓄積し、広く公開する。
- (2) 実務や政策、社会や文化との積極的な連携を通じて、日本及び世界に知的、実践的に貢献する。
- (3) 豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人を育成する。

2 一橋大学の研究教育の基本方針

- (1) 大学の社会的責任を自覚し、法と倫理を重んじ、自治と知的誠実の精神をもって研究教育を行う。
- (2) 研究教育における構成員の自由と自律、個性と多様性を尊重する。
- (3) 理論的研究と実務的研究、基礎的研究と先端的研究を等しく重視する。
- (4) 研究成果を国内外に広く公開するとともに、客観的、かつ、公平な自己評価及び外部評価により、その成果を厳しく検証する。
- (5) 対話と双方向の教育を基軸とした、自由で緊張感ある教育環境を育成し、発展させる。
- (6) 学生個人個人の感性を磨き、理性を鍛え、創造性と論理性、構想力と判断力を養うことを教育の指針とする。
- (7) 市民社会、産業界、官界との連携を適正、かつ、積極的に推進し、社会の課題に的確に応える。
- (8) 研究教育の国際的連携を図り、情報・人的ネットワークを構築する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

(1) 商学部

【求める学生像】

一橋大学商学部は、企業や市場に関連した現象に対して進んで関心を持ち、それを深く観察することで解決すべき問題を設定し、社会科学的思想・理論と現実に生じる事象との往復運動を繰り返しながら問題に対する創造的な解を導き、さらにリーダーシップを発揮してそれを実行に移せる人材の育成を使命としています。そのために、商学部に入学者は、経営学、会計学、金融論、マーケティングといった領域を中心として、「企業や市場に関連する応用社会科学」を、少人数のゼミナールにおけるきめ細かな指導と、基礎から応用へと着実に展開する段階的なカリキュラムを通じて、学んでいきます。入学後に学修を効果的に進めるためには、社会全般に対して高い関心を持っていることが重要です。企業や市場に限らず、様々な社会的問題に対する関心を抱くことは、自ら課題を見つけ、主体的に学んで、解決策を導こうとする意欲の源泉になるからです。

企業や市場に関連する応用社会科学を理論的に深く理解し、社会事象を実証的に分析するためには、高

度な数理的・論理的能力が必要となります。さらに、国際社会で活躍するためには、外国語によるコミュニケーション能力だけでなく一般的な言語能力が不可欠です。高等学校までの学習において、これらの基礎を身につけておくことにより、商学部での学びはより充実したものとなるでしょう。

【入学者選抜の基本方針】

【求める学生像】に示した知識・能力等を備えているかどうかを判定するため、「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力等の能力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を次のような入学者選抜において評価します。

一般選抜では、大学入学共通テスト及び個別学力検査（国語・外国語・数学・地理歴史）によって「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力等の能力」を評価します。

学校推薦型選抜では、大学入学共通テスト及び個別学力検査（小論文と面接）によって「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力等の能力」を評価するとともに、個別学力検査（面接）、調査書、推薦書及び自己推薦書によって「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

さらに、私費外国人留学生選抜を実施して、世界各国の留学生を積極的に受け入れています。

(2) 経済学部

経済学部では、経済学の知識と分析技術及びそれらを経済学の専門的な分野に応用する能力を備え、幅広い知識と教養及びグローバルなコミュニケーション能力を経済学の知識と分析技術と融合させて現実の経済・社会の課題を設定し解決に導く能力を、学士(経済学)の授与までに獲得できる人材として以下「1. 求める学生像」に掲げる能力や資質を持った方の入学を期待しています。この目標のため、「2. 入学者選抜の基本方針」に基づいて入学者を選抜します。

1. 求める学生像

以下のすべてを備えた人を求めています。

- (1) 経済学の修得に必要な知識・技能を身に付けていること。特に、理論、実証、歴史を体系づけて経済・社会現象を理解するための前提知識
- (2) 幅広く豊かな教養を修得できるだけの知識・技能
- (3) グローバルなコミュニケーション能力を修得するための英語をはじめとする外国語の知識と思考力・判断力・表現力等の能力
- (4) 経済・社会における様々な問題に対して自ら課題を設定し、説得力のある議論に基づいて解決方法を提案する思考力・判断力・表現力等の能力や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

2. 入学者選抜の基本方針

上記に掲げる能力と資質を有しているかを以下の方法を用いて選抜します。

- (1) 一般選抜においては、主として大学入学共通テストで(2)と(3)を、個別学力検査で(1)と(3)を評価します。特に、経済学の理解に必要な英語と数学を重要視します。
- (2) 学校推薦型選抜においては、主として大学共通テストと小論文による個別学力検査で(1)～(3)を、面接による個別学力検査と調査書、(学校による)推薦書、及び自己推薦書で(1)～(4)を評価します。
- (3) 一般選抜は前期日程に加えて後期日程を実施することで多様な人材の確保に努めます。

(3) 法学部

一橋大学法学部では、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人を育成するとの理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

1. 求める学生像

本学部は、本学のリベラルな学風の下、学修に関する学生の自主性を最大限尊重しつつ、幅広い教養と社会科学の総合的視野を有すると共に豊かな人権感覚と社会的公共性に裏打ちされた法学の専門的素養や国際的洞察力を修得することで、法化現象の進展とグローバル化の著しい社会状況を前に、将来にわたり日本及び世界の自由で平和な政治経済社会の構築と改革に寄与することのできる多様な人材を育

成することを、教育目標としています。

この教育目標を達成するため、本学部は、(1)社会問題を理解するための基礎となる知識・技能、(2)論理的に思考し明晰な言葉で表現する力、及び(3)高いコミュニケーション能力を有する意欲的な学生を求めています。

(1) 社会問題を理解するための基礎となる知識・技能

実社会で生じる問題を多く扱う法学と国際関係学の学修には、学生にとっては必ずしも身近とはいえない事象も含め、日々報道される様々な社会問題に高い関心を持ち、意欲的に情報収集をして知見を広げ、自ら理解を深めようとする姿勢が重要です。そして、そのような学修の前提として、関心を持った社会問題を適切に理解するための基礎的な知識・技能を習得していることも重要となります。

そのため、学力の「知識・技能」という要素の学習成果として、大学入学前に、国語、数学及び理科に関する知識を習得していること、社会問題理解の大前提となる日本と世界の地理・歴史や公民の科目の知識を習得していること、外国語を理解・活用する知識及び技能を有していることが求められます。

(2) 論理的に思考し明晰な言葉で表現する力

論理的に思考し明晰な言葉で表現する力の鍛錬は、法学部のカリキュラム全体を通じて行われることとなりますが、基礎的な能力を備えていることが入学時に求められます。そのため、学力の「思考力・判断力・表現力等の能力」という要素の学習成果として、大学入学前に、適切に論説文の読解や数学的思考の訓練等を行い、基礎的な論理的思考力・表現力を涵養してきた学生を求めています。

日本語能力に関しては、入学の時点で、様々な文章の論旨を正確に把握する能力及び比較的長い論理的文章を作成する能力を有していることが求められます。また、優れた国際的感覚を身につける前提として、英語を中心とする外国語の能力も欠かせません。入学時には、他の外国語を習得する際の基礎学力にもなる英語について、文章の高い理解力と表現力を有していることが求められます。

(3) 高いコミュニケーション能力

本学部で習得することのできる知識や能力の前提条件として、高いコミュニケーション能力は必要不可欠です。カリキュラムを全うして学位を取得するためには、ゼミナール等で主体性を持って教員や他の学生との議論に参加し、協働して学ぶことが必須となるため、相手の考えを適切に理解し、自らの考えを相手に伝わるように的確に表現することが重要です。そのため、学力の「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」という要素の学習成果として、大学入学前に高いコミュニケーション能力を身につけた学生を求めています。

日本語・外国語双方でのコミュニケーション能力は、多様化・グローバル化が進む世界の中で、立場や考えを異にする人々と交わりながら活躍してゆくための基盤となるものであり、国際関係について学ぶことを志す学生のみならず、国内の実定法を専門的に学ぼうとする学生や法律専門職を志す学生にも欠かせないものです。大学入学後にもこの能力を高める教育が実施されますが、大学入学前に、その前提となる上記の基礎的な能力を習得していることが求められます。

2. 入学者選抜の基本方針

上記の(1)～(3)にかかる各受験生の能力を確認するため、次のような基本方針で入学者選抜を実施します。

- (a) 一般選抜では、大学入学共通テスト及び論述式試験を基本とする第2次試験で(1)及び(2)を確認します。
- (b) 学校推薦型選抜では、大学入学共通テスト及び小論文試験で(1)及び(2)を確認します。さらに、推薦書・調査書等の提出書類で(3)を、面接試験で(1)、(2)及び(3)を、それぞれ確認します。
- (c) 外国学校出身者選抜では、第1次選抜の英語・小論文で(1)及び(2)を、第2次選抜の面接で(3)を、それぞれ確認します。また、私費外国人留学生選抜では、TOEFLの成績、日本留学試験（総合科目・数学コース1）の成績及び学力試験（日本語）で(1)及び(2)を、提出書類により(3)を、それぞれ確認します。

(4) 社会学部

一橋大学社会学部では、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力のある専門人、理性ある革新者、指導力のある政治経済人を育成するという本学が掲げる理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

1. 求める学生像

一橋大学社会学部は、社会科学及び人文科学の専門的・総合的な教授を通じて、現代社会の諸問題を多角的・批判的に分析し豊かな構想力をもって実践的に解決する人材の育成を目指します。

この目的の実現のために社会学部が用意するカリキュラムは、さまざまな学問分野（社会学・社会調査、国際社会学、哲学・思想、言語文化、社会心理学、人類学、地理学、教育学、政治学、スポーツ社会学、社会政策、歴史学、ジェンダー研究、等々）を専門的に、分野横断的に学修できるよう作られています。また、社会学部生活後半の中核となる後期ゼミナールでは、指導教員のもと、少人数の仲間たちとともに対象を見つめ、意見を交わし、材料を分析・考察し、協同的に思考を重ねながら、学修を深化・高度化させていきます。

学生たちのこのような学修を推進するにあたって、社会学部が重視していることが二つあります。「問題を多面的に把握する」と「社会が直面する課題に関心をもつ」ことです。

(1) 現実・問題を多面的に把握する

問題にはさまざまな面があること、そうした多面性は捉え方次第でいっそう際立ったものになること、それはまた自分自身が当たり前だとしてきた前提の問い直しにもつながること・・・社会学部の学生たちはこういった理解体験を重ね、いっそうの学修の必要を感じ、それぞれの取り組みにますます注力していきます。社会学部で学ぼうとする方々には、まずこのような「問題を多面的に把握する」姿勢をもっていただきたいと思います。カリキュラムに用意されるたくさんの選択肢はそうした姿勢を養うためのものです。時に矛盾・衝突しあう知識を、さまざまな学問分野に求め、それらに依りながら問題を相対的・多面的に比較検討し、考察と判断を重ねてひとつの結論へと編み上げていく、そのような知力を獲得していただきたいと思います。

(2) 社会が直面する課題に関心をもつ

現代社会はさまざまな課題に直面しています。メディアで、ネットで、人びとの間で、いろいろな形で言及されてもいるそれらに対して、社会学部で学ぼうとする方々、学ぶ学生たちには、常に諸課題に関心を向け、対話を通じてその解決に取り組んでいただきたいと思います。人びとと現実の多様性に心を開き、歴史と文化を異にするさまざまな世界のあり方に目を向け、対話と理解を続けようとすることです。そしてまた、おたがいの共感と配慮のうえに、それぞれのやり方で考え、意見を述べ、誠実かつ真摯に議論を積み重ねていくということです。

このため社会学部は特定の得意科目にとどまらず、自然科学も含めて幅広くさまざまな科目に積極的に取り組もうとする姿勢をもった学生を歓迎します。もちろん、ある科目が得意でとくにそれを詳しく学びたいという学生を拒むわけではありません。ただ、大学で学問を深めるには他分野への関心も含めた視野の広さが不可欠です。特定の科目に自信があり、大学で勉強したい分野がはっきりしている人も、その学びを深めるための土台として広範な知識と関心が必要だということを理解して欲しいと思います。また、大学で何を学ぶのかをこれから模索しようとする学生も社会学部は歓迎します。試行錯誤しながら自分の関心を次第に研ぎ澄ましていこうとする学生をサポートするカリキュラムを私たちは提供しています。

2. 入学者選抜の基本方針

上記のような能力を備えた学生を選抜するため、社会学部では一般選抜、学校推薦型選抜、外国学校出身者選抜及び私費外国人留学生選抜を実施します。一般選抜及び学校推薦型選抜においては、基礎学力が確かに身につけていることを確認するため、大学入学共通テストで5教科の受験を課します。それに加えて、一般選抜前期日程では、上記の能力及び資質等を総合的に判定するため、第二次試験で国語・数学・外国語・地理歴史を課します。学校推薦型選抜では、基礎学力が身につけているかを大学入学共通テストで確

認した上で、外国語、数学、情報学などの特定の分野における深い学びを資格・検定試験の結果で判定するとともに、応用力や学びへの姿勢を確認するために、小論文、面接試験、自己推薦書、推薦書を用いた選抜を実施します。

(全学部共通)

【「学力の3要素」の多面的・総合的な評価方法】

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査	○	○	
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○
	推薦書			○
	自己推薦書			○
外国学校出身者選抜	個別学力検査	○	○	
	面接	○	○	○
私費外国人留学生選抜	TOEFL	○	○	
	日本留学試験	○	○	
	個別学力検査	○	○	

(注) ○は、特に重視する要素

2 募集学部及び募集人員等

募集学部	学科	募集人員
商学部	経営学科	5人以内
	商学科	
経済学部	経済学科	5人以内
法学部	法律学科	5人以内
社会学部	社会学科	5人以内

(注1) 商学部は、学科を区別せず一括して募集し、第3学年進学時に配属します。

(注2) 法学部生は、法学コース・国際関係コース・法曹コースのいずれかのコースに属します。法学コース及び国際関係コースは、第3学年進学時に選択登録します。法曹コースは、原則として第2学年進学時に登録申請をし、第1学年次の成績による審査を経て登録可能となります。

(注3) 法曹コースは、一橋大学法科大学院と連携し、人権・国際・ビジネスに強い法曹養成のための一貫教育を行うものです。法曹コースに登録し、一定の成績要件を充足した学生については、法律科目の論述式試験が免除された一橋大学法科大学院の特別選抜試験を受験することや、早期卒業制度により法学部を3年間で卒業し、最短5年で法科大学院まで修了することが可能となります（ただし、コース選択は3年間での法学部卒業及び法科大学院への入学を確約するものではありません）。

3 出願資格

次の(1)～(3)の要件を全て満たす者

(1) 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を取得している者で、次のア～カのいずれかに該当するもの
 ア 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を令和4(2022)年4月1日から令和5(2023)年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を令和4(2022)年度に授与された者

ウ 外国においてドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和4(2022)年度に授与された者

エ 外国においてフランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和4(2022)年度に授与された者

オ 外国においてグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国で大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(GCE Advanced Level)資格を令和4(2022)年度に授与された者

カ 外国においてアメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル、又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンブシャー市に主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和4(2022)年度に卒業（修了）した者

※ オについては、出願書類として以下の受験結果を証明する書類を提出できること。

① GCE Advanced Level 3科目

又は

② GCE Advanced Level 2科目とGCE Advanced Subsidiary Level 2科目の合計4科目のいずれかの受験結果

ただし、受験結果は評価E以上のものに限る。

- (2) 外国の高等学校相当の学校において、最終学年を含めて2学年（各学年期の始業月から終業月まで）以上継続して在学した者及び在学見込みの者（飛び級等を含みます。）で当該学年の必要な単位を修得し課程を修了した者及び修了見込みのもの。

ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校並びに日本国内のインターナショナルスクール及びアメリカンスクールなどに在学した期間は含まれません。

- (3) 渡航の開始が保護者（成年の場合、「父母等」と読み替える。以下同じ。）の海外勤務等のやむを得ない事情によるものであること。（ただし、個人の事由で留学している場合であっても、平成18(2006)年10月1日以前から留学している場合は、この限りではない。）

※ 出願資格等で不明な点がある場合には、必ず事前に相談してください。

※ 新型コロナウイルス感染症の発生により、中止・延期等となった大会や資格・検定試験等に参加できず、その成績として調査書等に記載できない場合において、そのことをもって入学志願者が不利益を被ることがないようにします。この場合は、資格・検定試験等の結果を提出できない理由及び成果獲得に向けた努力のプロセスについて記載した書類が必要となります。手続方法等の詳細については、本学ウェブサイト（最終頁参照）を確認してください。

4 出願手続

(1) 出願期間 令和4(2022)年11月25日(金) ~ 12月1日(木)必着

※WEB出願サイト登録は令和4(2022)年11月18日(金)午前9時より可能ですが、出願期間前に到着した書類は受理しません。

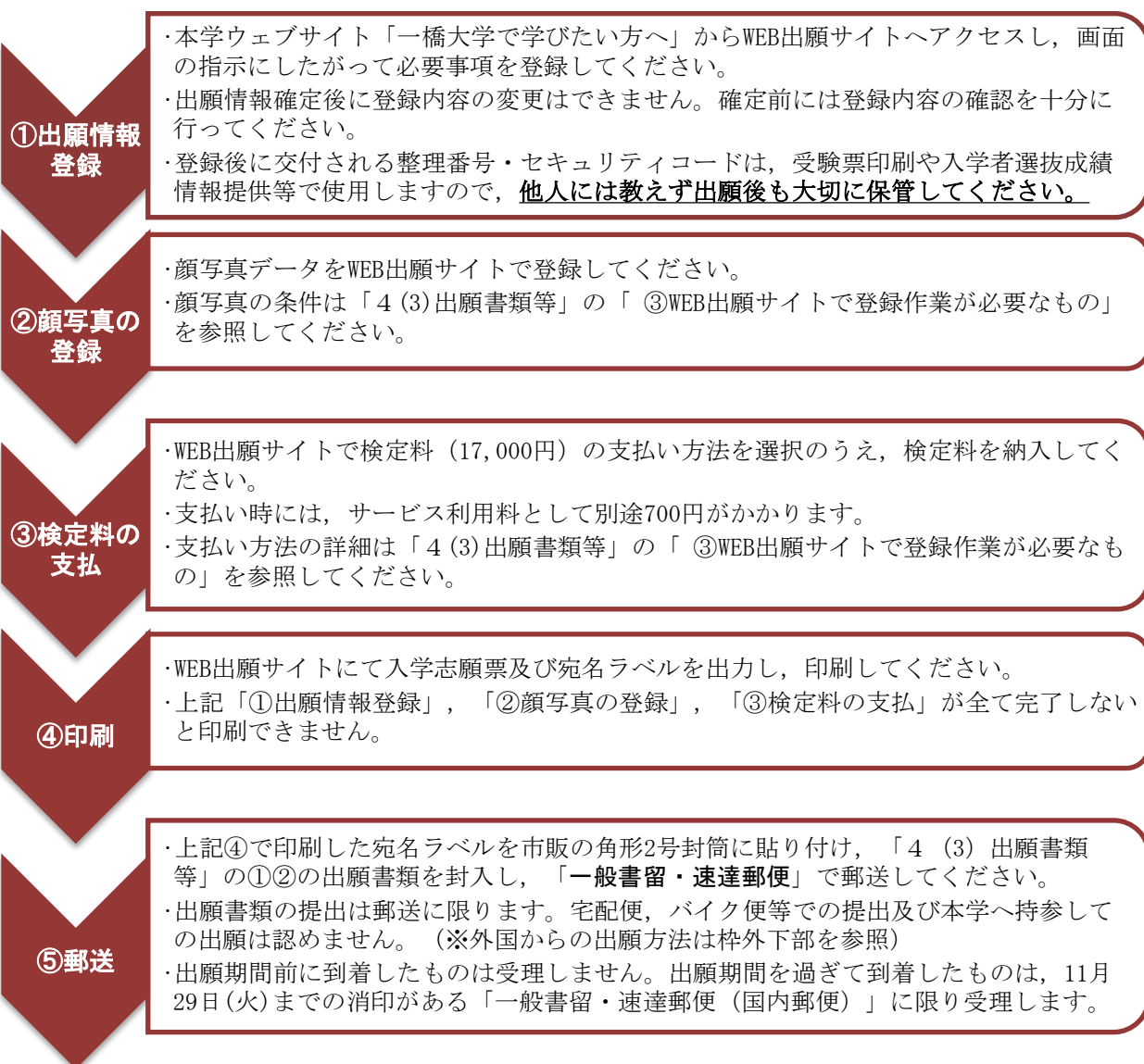
(2) 出願方法

以下の①～⑤全ての手続を上記出願期間内に完了してください。手続きの詳細やFAQは、WEB出願ガイダンスサイト (<http://www.guide.52school.com/guidance/net-hit-u/>) でご確認ください。

※WEB出願サイトで登録を済ませ、検定料の支払を完了しても、「(3)出願書類等」一式が出願期間内に本学へ到着しない場合は、出願は受理されません。

WEB出願サイトでの登録に当たっては、インターネットに接続されたパソコン等の端末、プリンター、「@ad.hit-u.ac.jp」からのメール受信可能なメールアドレス、顔写真(証明写真)データをあらかじめ用意してください。

WEB出願サイト <http://www.guide.52school.com/guidance/net-hit-u/>



【外国からの出願方法】 出願書類等を一括し、封筒の表面左下に「出願書類」(APPLICATION DOCUMENTS)と朱書し、〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学入試課 (Hitotsubashi University, Admissions Office 2-1 Naka, Kunitachi, Tokyo 186-8601, JAPAN) 宛に送付してください。送付には必ずEMS等の、本学までの配達状況が追跡できる国際スピード郵便サービスを利用してください。その場合、「4(3)出願書類等」①の宛名ラベルの貼付は不要です。出願期間を過ぎて到着した出願書類については一切受け付けません。

(3) 出願書類等

① WEB 出願サイトから印刷するもの

入学志願票	<p>1 出願登録後、WEB 出願サイトの申込確認ページにて、白色 A4 サイズの用紙にカラー印刷してください。印字されている内容に誤りがないか確認してください。</p> <p>2 ※印欄には記入しないでください。</p> <p>【出願登録時の注意】</p> <p>1 書類不備等緊急の場合も含め、大学からの連絡等は、全て「現住所」の連絡先又は「日本国内の連絡先」に行います。確実に連絡がとれる電話番号・メールアドレス等を入力してください。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症の影響により、取得予定だった出願資格試験を受験できなかった場合、「出願資格(1)」で「新型コロナウイルス感染症の影響により、出願資格試験を受験できなかった。」にチェックを入力し、「資格取得年月」は空欄としてください。</p> <p>3 (法・社会学部のみ) 入学後に履修する第二外国語を選択してください。選択に当たっては下記ウェブサイトの案内(11月中旬頃に掲載予定)を必ず参照してください。 https://www.hit-u.ac.jp/kyomu/courses/regist_conf.html</p>
宛名ラベル	<p>出願登録後、WEB 出願サイトの申込確認ページにて、白色 A4 サイズの用紙にカラー印刷し、市販の角形 2 号封筒(240mm×332mm)に貼り付けてください。印字されている内容に誤りがないか確認してください。</p> <p>入学志願票及びその他必要な書類を封入し「一般書留・速達郵便」で出願期間内に到着するよう郵送してください。</p>

② その他必要な書類

<p>卒業(修了)証明書 (同見込証明書) 学業成績証明書</p>	<p>【出願資格(1)のア又はカに該当する者】 ○最終出身校の卒業(修了)証明書(同見込証明書) 原本(コピー不可) 1通 ○学業成績証明書(高等学校(全学年)相当) 原本(コピー不可) [日本の高等学校(中等教育学校後期課程を含む。)に在学していた場合は、在学期間の調査書も含みます。] 1通 なお、証明書内には証明書の発効日及び成績評価の説明(成績評価の段階等)を必ず記載してください。 (注1) 上記2つの証明書が日本語又は英語以外の言語で記載されている場合には、必ず日本語又は英語で訳したものを作成し添付してください。(志願者の訳で可。厳封された封筒も開封して構いません。) (注2) 上記の書類によることができない場合は、お問い合わせください。</p> <p>【出願資格(1)のイに該当する者】 ○国際バカロレア資格証書(原本の写しであることを証明済のもの)及び成績評価証明書(原本の写しであることを証明済のもの)(※) 各1通</p> <p>【出願資格(1)のウに該当する者】 ○一般的大学入学資格証明書(原本の写しであることを証明済のもの)及び成績評価証明書(原本の写しであることを証明済のもの)(※) 各1通</p> <p>【出願資格(1)のエに該当する者】 ○バカロレア資格証書(原本の写しであることを証明済のもの)及び成績評価証明書(原本の写しであることを証明済のもの)(※) 各1通</p> <p>【出願資格(1)のオに該当する者】 ○以下の成績評価証明書(原本の写しであることを証明済のもの)(※) ① GCE Advanced Level 3科目 又は ② GCE Advanced Level 2科目とGCE Advanced Subsidiary Level 2科目の合計4科目 のいずれかの受験結果 ただし、受験結果は評価E以上のものに限る。 1通</p> <p>(※) 上記証明書は、他の出願書類とともに提出されない限り出願書類として認めません。 (※) 原本の写しであることの証明は、あらかじめ、原本を発行する高等学校等又は大使館等公的機関で受けてください。本学入試課での証明を希望する場合は、次の3点を簡易書留で入試課宛てに郵送してください。①証明書原本②志願者本人の身分証明書の写③返送用封筒(宛先を記入し、簡易書留分の切手を貼付したもの)</p>
<p>履歴書 [所定様式]</p>	<p>所定様式を本学ウェブサイトにてダウンロードし、作成してください。白色A4サイズ用の紙に印刷したものを提出してください。</p>
<p>海外在留歴調書 [所定様式]</p>	<p>所定様式を本学ウェブサイトにてダウンロードし、作成してください。白色A4サイズ用の紙に印刷したものを提出してください。</p>

<p>海外在留証明書</p> <p>(右記A, Bのいずれか1つを提出してください。)</p> <p>(保護者の事情により志願者本人が海外渡航をしていることが分かるものを提出してください。)</p>	<p>A：在外公館による証明書 1通 (様式自由：保護者の氏名、志願者の氏名、滞在期間、在留地等を明記してください。)</p> <p>B：保護者の所属する機関による証明書 1通 (様式自由：保護者の氏名、志願者の氏名、滞在期間、在留地等を明記してください。)</p> <p>(注1) 上記の証明書が日本語又は英語以外の言語で記載されている場合には、必ず日本語又は英語で訳したものを作成し添付してください。(志願者の訳で可)</p> <p>(注2) 上記いずれかの方法で提出できない場合には、志願者及び保護者のパスポートの表紙、顔写真のページ及びビザ、また志願者が外国で教育を受けた期間の出入国記録のある全てのページ(一時帰国及び1か月以内の短期滞在を除く)の写しと該当箇所が分かるメモ等を必ず提出してください。 平成18(2006)年10月1日以前から個人の事由で留学している場合は、保護者のパスポートの写しは不要です。</p>
<p>日本国籍を有すること又は日本国の永住許可を取得していることを証明する書類</p>	<p>【日本国籍を有する者】 ○パスポートの氏名・国籍・顔写真のページの写し 1通</p> <p>【日本国の永住許可を取得している者】 ○在留カード又は特別永住者証の写し 1通 住民票の写しでも可(住民登録をしている各市町村役場で発行している書類。個人番号(マイナンバー)の記載は不要。コピー不可)</p>
<p>【該当者のみ】 国家試験等の統一試験、語学検定試験等の成績評価証明書(写)</p>	<p>国家試験等の統一試験のある国で、その統一試験を受験している場合や、TOEFL・IELTS等の検定試験等を受験している場合には、当該成績評価証明書等の写しを併せて提出してください。</p> <p>また、提出に当たっては、他の出願書類とともに送付することとし、<u>国家試験事務局等から直接大学へ送付しないでください。</u>ただし、出願期間内に提出することが困難な場合には、その旨及び提出予定日を記入したメモを出願書類に同封するとともに、入手でき次第郵送してください。</p> <p>※語学検定試験の成績評価証明書は、入学後の教務上の必要から提出を求めるものであり、提出の有無が入学者選抜上の不利益となることはありません。</p>

③ WEB 出願サイトで登録作業が必要なもの

<p>検定料 (17,000円)</p>	<p>検定料は、クレジットカード(VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club)、コンビニエンスストア、銀行ATM(Pay-easyでの支払)、及びネットバンキングのいずれかで支払ができます。</p> <p>検定料の他に、サービス利用料として別途700円が必要です。</p> <p>※銀行窓口での支払はできません。</p> <p>※コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。</p> <p>※クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。(ご家族等の名義でも支払が可能です。)</p> <p>※検定料支払時に受け取る収納証明書(領収書・受領書・ご利用明細書等)は郵送不要です。</p> <p>※本学には検定料免除制度があります。詳細はp.19「経済的困窮者及び災害被災者に対する検定料免除制度について」をご確認ください。</p>
<p>顔写真(証明写真)データ</p>	<p>WEB出願サイトで志願者本人の顔写真データを登録してください。</p> <p>顔写真は、最近3ヶ月以内に撮影したもので、カラー写真(白黒不可)、上半身・正面向き、無帽、無背景、枠無しのものでします。(スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラ等で撮影したものも可)</p> <p>また、写真データ形式はJPEGもしくはPNGのいずれかで、100KB以上5MB以下のデータを登録してください。</p> <p>なお、登録した顔写真データは、入学後の学生証の写真として使用します。</p>

(4) 注意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ② 出願手続後の志望学部の変更は認めません。
- ③ 一旦受理した書類及び納入した検定料等は、返還しません。
- ④ 出願に際し不正等があった場合は、入学許可後であっても、これを取り消します。
- ⑤ 大学からの連絡等は、入学志願票の「E-Mail」欄のメールアドレス、「現住所」又は「日本国内の連絡先」に記載の電話番号等に行います。

(5) 受験票等について

出願が受理された者については、2023年1月下旬から受験票の印刷が可能となります。WEB出願サイト申込確認ページにログインし、白色A4サイズの用紙に印刷のうえ、試験当日持参してください。受験票の郵送はありません。

出願資格が認められなかった場合には、検定料の返還を行いますので、WEB出願サイト申込確認ページにログインし、2023年3月3日(金)までに「検定料返還申請」ボタンより検定料返還手続を行ってください。

なお、申込確認ページへのログインには、出願登録時にメール交付される整理番号・セキュリティコードが必要です。

(6) 個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人一橋大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- ① 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格者発表、入学手続業務を行うために利用します。
- ② 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は、入学後の教育指導並びに今後の入学者選抜方法及び広報活動の検討資料の作成のために利用することがあります。
- ③ 上記①及び②の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
その場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- ④ 出願に当たって知り得た個人情報は、入学者のみ、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料等免除・奨学金申請等）、授業料徴収関係、研究教育振興関係の業務を行うために利用します。

5 障害等のある入学志願者の事前相談

本学では、障害等がある方の受験及び修学に対して合理的な配慮を行っており、そのための相談を常時受け付けています。

障害等があって、受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合、その内容によっては、本学が対応を決定するまでに時間を要することがあります。本学への出願を考えている場合には、令和4(2022)年11月25日(金)(必着)までに入試課に以下の(1)による事前相談の申請をしてください。

なお、上記期限後の申請についても、引き続き配慮検討の対象になりますが、希望する配慮事項によっては対応が間に合わないことがありますので、申請前にお電話等でご連絡いただくとともに、早めのご相談を推奨します。また、申請の時期によっては、「入学後配慮を希望する事項」への対応は合格者発表後に検討することになり、合格者発表前には本学の措置内容を通知できない旨、ご注意ください。

さらに、事前相談の申請をした場合であっても、本学への出願が義務付けられるわけではありません。出願する、しないが未定であっても申請は可能です。

(1) 事前相談の方法

事前相談の申請は、(2)の書式例により「入学者選抜に係る事前相談について」を作成の上、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください（メール提出可。宛先は最終頁参照）。

※ 提供いただいた個人情報は、支援内容検討のために関係部署と共有します。

なお、必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に入試課に確認してください。

(2) 書式例（※A4判で作成のこと。）

様式は本学ウェブサイト（https://juken.hit-u.ac.jp/admission/info/jizen_hairyo.html）からダウンロード可能です。

6 選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、第1次選抜と第2次選抜に分けて実施します。

- (1) 第1次選抜は、学力試験及び出願書類により行います。
- (2) 第2次選抜は、第1次選抜合格者に対する面接及び上記(1)の学力試験等の成績を総合して行います。

7 第1次選抜（学力試験）・第1次選抜合格者発表・第2次選抜（面接）

(1) 第1次選抜（学力試験）

- ① 外国語【英語（コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ，英語表現Ⅱ）（聞き取り・書き取り試験を行います。）】
- ② 小論文【社会・文化に関する論文又は資料等を示して理解力・判断力・表現力などをみます。】

日程	教科等	受験者入室	試験開始	試験終了
2023年 2月26日(日)	外国語(英語)	9時30分～10時10分	10時30分	12時30分
	小論文	14時10分まで	14時30分	16時30分

(2) 第1次選抜合格者発表日時

2023年3月1日(水) 12時00分

合格者発表ウェブサイトにて第1次選抜合格者の受験番号を掲示します。

・合格者発表ウェブサイト https://telemail.jp/shingaku/topics_g/successes/school/10003381/

（パソコン及びスマートフォン・タブレット端末によるアクセスが可能）

○ 掲示期間：2023年3月1日(水)～3月3日(金)

合格者発表
ウェブサイト
QRコード



(3) 第2次選抜（面接，第1次選抜合格者に対して行います。）

日程	受験者入室	試験開始	試験終了
2023年3月3日(金)	12時50分まで	13時00分	最終16時00分頃

(4) 第1次・第2次選抜受験に当たっての注意

ア **試験において不正行為を行った場合、失格とします。また、不正行為に関しては、警察に「被害届」を提出する場合があります。**

イ 「外国学校出身者選抜受験票」を必ず持参してください。（これらの受験票は入学手続等の際にも必要となるため、大切に保管してください。）なお、受験票はWEB出願サイトより何度でも出力が可能です。

ウ 試験場での食堂営業等を行わないため、第1次選抜受験の際には昼食を持参し、自席で食事をとってください。

エ 試験当日は事故等が発生する場合も考えられるため、試験場への経路について各自事前に十分確認してください。

なお、事故等で試験当日に試験開始時間までに到着できない場合は、一橋大学入試本部（第1次選抜 042-580-8159／第2次選抜 042-580-8153）まで問い合わせてください。

オ 自動車、バイク、自転車等での入場は認めません。

※ 試験当日の所持品についての注意事項、使用を禁止しているものを試験時間中に発見した場合の対応、新型コロナウイルス感染症対策に関連する受験上の注意事項等については、2月上旬までに受験票及び本学ウェブサイト（最終頁参照）に掲載しますので、必ず確認してください。
※ 新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者の受験機会を確保するため、追試験を実施する予定です。詳細については本学ウェブサイト（最終頁参照）を確認してください。

(5) 配点について

- ① 第1次選抜における配点は、外国語 100点、小論文 100点の合計 200点とします。
- ② 第2次選抜（最終合格者決定）における配点は、外国語 100点、小論文 100点、面接 100点の合計 300点とします。

(6) 試験場（学力試験・面接）

一橋大学国立西キャンパス

※ 詳細は、試験日当日に一橋大学国立西キャンパス正門にてご案内します。試験日当日まで試験場建物には入れません。指定された試験場以外では受験できません。

8 最終合格者発表

(1) 合格者発表日時

2023年3月10日（金） 10時00分

(2) 合格者発表等

合格者発表ウェブサイトにて、第2次選抜合格者の受験番号を10時00分以降に掲載します。

合格者には合格通知書及び入学手続き書類を合格者発表当日に発送します。

・合格者発表ウェブサイト https://telemail.jp/shingaku/topics_g/successes/school/10003381/

（パソコン及びスマートフォン・タブレット端末によるアクセスが可能）

○ ウェブサイト掲示期間：2023年3月10日（金）～3月15日（水）

合格者発表
ウェブサイト
QRコード



(3) 留意事項

キャンパス付近で合否電報等の勧誘を行っている場合がありますが、本学とは一切関係ありません。また、電話・メール等による合否の照会には応じられません。

9 入学料の納入

入学手続き書類に同封されている「入学料振込用紙」を使用して、銀行窓口にて入学料を振り込んでください。

なお、所定の期間内に入学手続き（入学料の納入・振込確認書の郵送）を行わないと、入学辞退者として扱われるので注意してください。

納入金	入学料	納入方法
	282,000円	【銀行振込】 所定の期間内に入学手続きが完了するように、銀行窓口にて入学料を振り込んでください。(ATMは不可) なお、銀行窓口での現金振込となりますので、 納入できるのは平日のみです。 ※ 振り込んだ際に銀行から返却される「振込確認書」は、入学手続きの際に必要となります。

(注) 入学を辞退した場合など、いかなる理由があっても既納の入学料は返還しません。

《参考》授業料について

入学後に納入	【2023年度前期分】	321,480円
	【2023年度後期分】	321,480円

(注) 授業料は口座振替での納入になります。口座振替の手続書類は入学手続き書類に同封します。
前期分は入学した年の5月に、後期分は10月に引き落としします。

【入学時又は在学中に学生納入金が改定された場合の取扱いについて】

学生納入金(入学料・授業料)の改定が行われた場合は、改定時から新たな納入金額が適用されます。

10 入学手続

※ 入学手続に必要な書類等は、合格通知書送付時に同封します。

入学手続手順	<p>「9 入学料の納入」に従い、<u>入学手続き書類に同封されている「入学料振込用紙」</u>を使用し、日本国内の銀行窓口にて入学料を振り込んでください。</p> <p>入学料を銀行で振り込んだ際に返却される「振込確認書」を、以下のとおり提出してください。</p> <p>※入学料免除・徴収猶予を希望する者(「11 入学料及び授業料の免除・徴収猶予について」参照)は、入学料を納入せず、合格通知書送付時に同封する「入学手続案内」を参照の上、必要な手続を行ってください。</p>
入学手続期限	2023年3月15日(水)必着(遅れた場合、受付しません。)
必要書類	<p>入学手続き書類に同封される入学手続き書類等送付用封筒を使用して以下の書類を郵送してください。</p> <p>① (入学料振込用紙) 振込確認書</p> <p>※入学料の免除・徴収猶予の申請者は、入学料を納入せず、振込確認書の代わりに申請書類を同封してください。</p> <p>② 外国学校出身者選抜受験票</p> <p>③ 受験票返送用封筒(住所・氏名を記入の上、簡易書留送料分の切手を貼付してください)</p> <p>上記必要書類を確認後、受験票返送用封筒で受験票を返送します。</p>
注意事項	<p><u>上記の入学手続期間内に入学手続を行わないと、入学辞退者として扱われるので注意してください。</u></p> <p>なお、いかなる理由があっても既納の入学料は返還しません。</p>

※ 令和5(2023)年3月13日(月)13時00分までに入学手続き書類等の郵便が配達されなかった場合は、同日14時00分までに必ず学務部入試課(最終頁の問合せ先参照)までご連絡ください(それ以前の郵便到着に関するお問合せはご遠慮ください)。やむを得ない理由で郵送による入学手続きができない場合についても、同期日までにご連絡ください。

※ 合格通知書及び入学手続き書類は、WEB 出願サイトに登録した「合格通知書送付先」住所宛に送付します。万が一、住所変更が生じた場合は、郵便物の転送手続を行い、確実に受け取れるようにしてください。

11 入学料及び授業料の免除・徴収猶予について

本学には、入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度があります。

(1) 入学料・授業料の免除制度

以下に該当する方は、申請により、入学料及び授業料の免除を認められることがあります。

- ① 入学手続時点で、日本学生支援機構給付奨学金（「高等教育の修学支援新制度」）に予約採用されている方（※「貸与奨学金」のみに採用された方は該当しません）
- ② 入学後、日本学生支援機構給付奨学金（「高等教育の修学支援新制度」）に申込み予定の方（事前に日本学生支援機構ウェブサイトで家計基準等の申請要件をご確認ください。住民税非課税世帯（第1区分の支援）及びそれに準じる世帯（第2区分、第3区分の支援）が対象の制度です）
- ③ 入学前1年以内に、学資負担者が死亡したこと、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより入学料の納入が著しく困難である方（要件が非常に限定されているため、必ず事前に学生支援課（042-580-8117）まで相談してください）

(2) 入学料・授業料の徴収猶予制度

また、上記に該当しなくても、経済的理由により入学料及び授業料の納入が困難な場合、申請により徴収猶予が認められることがあります。

(3) 手続き方法等

いずれも手続等の詳細については、合格通知書送付時に同封する「入学手続案内」を参照してください。

入学料免除・徴収猶予を申請される方は、入学手続時に入学料を納入せず、上記の手続きを行ってください。

12 その他

(1) 卒業証明書等の提出について

- 1 卒業見込又は修了見込で出願した者は、入学後に、卒業証明書又は修了証明書を提出することになるので準備をしておいてください。
- 2 大学又は高等専門学校在籍中に出願した者は、入学後に、退学証明書を提出することになるので準備をしておいてください。

(2) 保険について

学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険は、学生生活における万一の事故やケガなどに備える学生用の保険です。

本保険制度には全国国立大学法人の100%が加入登録していて、①正課中（講義、実験、実習、演習又は実技による授業を受けている間、指導教員の指示に基づき研究活動を行っている間）、②学校行事中（大学の主催する入学式、オリエンテーション、卒業式など教育活動の一環としての各種学校行事に参加している間）、③キャンパス内にいる間（大学が教育活動のために所有、使用又は管理している学校施設内にいる間）、④課外活動中（大学の規則にのっとりた所定の手続により、大学の認めた学内学生団体・サークルの管理下で行う文化・体育活動を行っている間）の傷害事故等や通学中の事故等（特約）も補償されますので、本学学生にも積極的に加入いただいております。

学生教育研究災害傷害保険（通学特約付）

4年間の保険料 3,300円（予定）

学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険 4年間の保険料 1,360円(予定)
 合計: 4,660円(予定)

13 参考〔外国学校出身者選抜合格状況〕

(1) 令和4(2022)年度入試

学部	募集人員	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)
商学部	5人以内	15	10	4
経済学部	5人以内	9	8	6
法学部	5人以内	15	7	4
社会学部	5人以内	26	19	8
合計		61	44	22

(2) 令和3(2021)年度入試

学部	募集人員	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)
商学部	5人以内	17	14	5
経済学部	5人以内	18	11	4
法学部	5人以内	15	8	3
社会学部	5人以内	15	11	8
合計		65	44	20

(3) 令和4(2022)年度入試 第1次選抜合格者の最高点・最低点

学部	最高点	最低点
商学部	162	134
経済学部	166	123
法学部	171	137
社会学部	162	130

(4) 令和3(2021)年度入試 第1次選抜合格者の最高点・最低点

学部	最高点	最低点
商学部	155	125
経済学部	170	138
法学部	132	112
社会学部	156	108

経済的困窮者及び災害被災者に対する検定料免除制度について

一橋大学では学部入学者選抜において、経済的に困窮している入学志願者及び災害に被災した入学志願者に対して進学を提供するための検定料免除制度を実施しています。

1 免除対象となる入学者選抜

検定料免除の対象となる試験は、令和5年度学部入学者選抜（令和4年度に実施される入学者選抜）のうち、一般選抜、学校推薦型選抜、外国学校出身者選抜です。

2 免除の対象

- (1) 主たる家計支持者が給与所得者（公的年金受給者を含む。）の場合は、入学者選抜実施日の前年の給与収入金額等が400万円以下である場合。主たる家計支持者が給与所得者以外の場合は、入学者選抜実施日の前々年の所得金額が218万円以下である場合
- (2) 主たる家計支持者が災害救助法適用地域において、入学者選抜実施日の1年以内に罹災した場合
- (3) (2)に準ずる場合であって学長が相当と認める事由がある場合

3 免除の手続

検定料の免除を受けようとする方は、本学ウェブサイト(<https://juken.hit-u.ac.jp/admission/info/exemption/index.html>)より「検定料免除申請に当たっての注意事項」を確認した上で、WEB出願登録時に「入試区分の選択」画面の「検定料免除を申請しますか？」で「はい」を選択し、次の書類を出願書類と共に郵送してください。

なお、この手続を行う場合は、出願時に「検定料」を振り込まないでください。

- (1) 検定料免除願（上記ウェブサイトよりダウンロードし使用してください。）
- (2) 給与収入金額等又は所得金額に関する証明書類（2(1)の場合）
 - ① 給与収入及び公的年金である場合は、入学者選抜実施日の前年に当たる源泉徴収票又は年金支払証明書等（写）
 - ② 事業所得の場合は、入学者選抜実施日の前々年に当たる確定申告書の控え（写）
 - ③ 収入が無い場合は非課税証明書
- (3) 罹災証明書等（2(2)の場合）

4 免除の取消

記載内容が事実と異なる場合には、検定料の免除が取り消されます。

5 問合せ先

学務部入試課（電話番号）042-580-8150

9時00分～17時00分（土・日曜日、祝日、年末年始は除く。）

国際学生宿舎について（外国学校出身者選抜）

一橋大学では、日本人学生と外国人留学生が共に暮らし、国際意識を高める環境として国際学生宿舎（小平国際キャンパス内）を設けています。

入居を希望する学生は、必ず申請受付期間に申請を行ってください。

募集要項・申請書は12月上旬頃に本学ウェブサイト

(<https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>)に掲載します。

また、学生支援課窓口でも配布いたします。

I. 募集区分

单身室

※ 部屋のタイプ（個室および共用タイプ）を選ぶことはできません。

II. 申請資格

一橋大学正規課程の外国学校出身者選抜受験者で日本国籍（永住外国人含む）を持つ者。

III. 募集人数

若干名

IV. 入居期間

2023年3月27日(月)～2025年3月17日(月)（予定）

V. 受付期間

2023年3月10日(金)～3月16日(木)（予定）

※ 詳細は募集要項をご確認ください。

（12月上旬頃に本学ウェブサイトに掲載予定）

VI. 選考結果発表

2023年3月22日(水)（予定）

◆国際学生宿舎に関する問合せ先
一橋大学学務部学生支援課 宿舎管理係
TEL: 042-580-8141
e-mail: dormitory@ad.hit-u.ac.jp

入学者選抜成績の情報提供について

1 申請者に提供する成績の内容

第1次選抜学力試験の成績〔外国語（配点：100点）及び小論文（配点：100点）の合計点（200点満点）〕

2 申請方法

(1) 申請者

受験者本人

(2) 通知方法

入学者選抜成績の情報提供はWEB出願サイトで行います。成績情報提供を希望する場合は、受験者本人が提供期間中にWEB出願サイト申込確認ページにログインし、確認してください。

※WEB出願サイト申込確認ページへのログインには、出願時にメール交付される整理番号とセキュリティコード入力が必要です。整理番号・セキュリティコードは自身で大切に保管してください。

(3) 申請期間

2023年5月1日(月)午前10時 ～ 9月30日(土)午後5時まで

一橋大学入学者選抜 関連ウェブサイト・問合せ先

- 本学ウェブサイト <https://juken.hit-u.ac.jp/>
追試験に関する情報，試験場，試験当日の所持品についての注意事項，その他受験上の注意事項等についてもここで掲載します。
- WEB 出願サイト <http://www.guide.52school.com/guidance/net-hit-u/>
受験票印刷，検定料返還申請，入学者選抜成績情報提供等のため申込確認ページへログインするには，出願登録時にメール交付される整理番号・セキュリティコードが必要です。
- 検定料免除制度 <https://juken.hit-u.ac.jp/admission/info/exemption/index.html>
- 合格者発表ウェブサイト https://telemail.jp/shingaku/topics_g/successes/school/10003381/
合格者発表ウェブサイトQRコード



- 学生宿舍 <https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>
- 国立キャンパス
交通案内／構内配置 <https://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/access.html>
<https://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/campus/index.html>
図

● 問合せ先

一橋大学 学務部 入試課

住 所： 〒186-8601 東京都国立市中 2 丁目 1 番地

電 話： 042-580-8150 FAX： 042-580-8158

e-mail： adm-inq@ad.hit-u.ac.jp

9 時 00 分～17 時 00 分（土・日曜日，祝日，年末年始は除く。）

* 電話・FAX・メールによる問合せは，**入学志願者本人が行ってください。**
また，可否に関する問合せには応じられません。

● WEB 出願サイトの操作に関する問合せ先

志願受付操作サポート窓口

電 話： 0120-752-257

9 時 00 分～20 時 00 分（WEB 出願サイト登録期間中）

※ ガイダンスサイト(<http://www.guide.52school.com/guidance/net-hit-u/>)もあわせてご確認ください。